

Teatime

発行／放送大学三重学習センター
ティータイム

vol.
118
2024年4月

文部科学省認可通信教育



2024.1.13
清水先生特別公開講演会



2024.3.2
心理学の視点で観る映画（山口先生）



2024.3.24 入学者の集い



2024.3.24
学位記授与式

CONTENTS

新入生のみなさまへ	P.1～2	2024年度第1学期面接授業の追加登録方法について	P.19～20
卒業・修了おめでとうございます！	P.3～4	学習に関するお知らせ	P.21
退任挨拶	P.5～7	三重学友同窓会だより	P.22
就任挨拶	P.8～11	学生サークル紹介	P.23～24
三重学習センター客員教員によるセミナー・公開講演会	P.12～18	学習スケジュール	P.25～26
		巻末お知らせ	裏表紙

新入生のみなさまへ

ご入学おめでとうございます。これから放送大学で学習していくにあたって、ヒントになりそうなことをまとめましたので、ご活用ください。

内容を確認の上、大切に保管してください。



学生生活の栞

放送大学で学ぶにあたって必要な情報を掲載。疑問点が生じたら参考にしてください。

- ・学習の流れや方法
- ・通信指導／単位認定試験
- ・各種手続きについて 等

《印刷教材と一緒に送付》



利用の手引き

学習センターの利用に役立つ情報を掲載。

- ・視聴学習室の利用
- ・放送教材の郵送貸出
- ・図書の利用
- ・学内システムの利用
- ・単位認定試験過去問題の閲覧方法
- ・修得した単位の見方 等

《Teatime 118号と一緒に送付》

放送大学での学習の流れをご紹介します。

新入生のための学び方ガイダンス

(放送大学ウェブサイト>在学生(WAKABA)>新入生のための学び方ガイダンス)



学習・学生生活のためのツールをご案内します。活用してください。

システム WAKABA (教務情報システム)

学生専用サイトです。学習や各種連絡の確認・手続きはこちらでできます。在学生 (WAKABA) からログインして利用できます(詳細は『利用の手引き』P.12)。

(放送大学トップページ)



できること

- 放送授業のインターネット配信：授業の視聴
- 学内連絡：学内連絡の確認
- 各種届出・申請様式：各種様式のダウンロード
- 質問箱：主任講師への質問
- 授業連絡：授業に関する連絡の確認
- 学生カルテ：成績・修得済み単位等の確認



変更・異動手続： メールアドレスや住所等の登録情報の変更、所属学習センター変更、休学の手続き等、なにかを変更したいときはこちら。

自己判定： 所属コースを変更した場合、修得しなければならない単位がどう(シミュレート) 変わるかのシミュレーション

重要!



このほかにも様々な機能があります。ぜひログインしてのぞいてみてください!

※システム WAKABA は、初回ログイン時に必ずパスワードの変更を行ってください。一定期間後、初期パスワードでのログインはできなくなります。

放送大学自己学習サイト

履修科目以外に、各種教材を使って自由に学習することができます。

システム WAKABA > 「学内リンク」> 「放送大学自己学習サイト」から利用できます。

使える教材

英語：「TOEIC 入門編」「TOEIC 実践編」他
PC スキル：「C 言語スキル判定」「PC 入門シリーズ」
「ワープロソフト Word」「表計算ソフト Excel」他
就職試験など：「SPI・CAB・GAB」



(システム WAKABA トップページ)

学内 FAQ

よくある質問をまとめています。

システム WAKABA > 「キャンパスライフ」> 「学内 FAQ」から閲覧できます。

電子ブック・電子ジャーナル

本学が契約している電子ブック、電子ジャーナル、データベースなどの電子資料を利用できます。ご自宅でも閲覧できます(一部を除く)。放送大学附属図書館のウェブサイトからアクセスできます。システム WAKABA の ID/ パスワードで利用します。

利用できる電子資料

電子ブック： Maruzen eBook Library / ジャパンナレッジ Lib 等

電子ジャーナル： CiNii Articles / 日経 BP 記事検索サービス / Science Direct 等

データベース： 朝日新聞クロスサーチ / 日本古典文学大系 DB / 日本国勢図会 / 理科年表プレミアム 等



(放送大学附属図書館トップページ)

卒業・修了おめでとうございます！

2023 年度第 2 学期、三重学習センターからは教養学部 32 名の卒業生、大学院からは 1 名の修了生が誕生しました。教職員一同心よりお祝い申し上げます。

教養学部

生活と福祉コース	8 名	心理と教育コース	16 名
社会と産業コース	2 名	人間と文化コース	3 名
情報コース	2 名	自然と環境コース	1 名

大学院

人文学プログラム	1 名
----------	-----

修了生・卒業生のひとこと

60の手習いならぬ65で始めた放送大学。入学した一番の動機はボケ防止。定年退職後毎日サンデーの生活を始めたが日に日に脳の退化を感じ、このままでは徘徊人生になりかねないと危機感、何かないかと思っていたところに放送大学が目止まった。高校卒業が唯一の入学資格というのだから、おお、これにしよう！と思った。

歳とともに学ぶ立場から教える側になっていったが、再び学ぶ側に立ったことはとても良い経験になった。話に教養が滲み出てくる先生、語りの情熱につい引き込まれてしまう先生、ゲストとの対談を交える授業も多くあり、飽きずに興味を持って勉強することができた。有益な時間を提供してくださった放送大学に感謝する。

人間と文化コース卒業 田秋さん

私は2010年4月に心理と教育コースに入学してから14年の月日を経て、今回6回目の卒業をさせて頂きます。何度目かの卒業の時は、コロナ禍の影響で証書と学位記を自宅へ送って頂いたこともございました。また、あの頃の試験は試験官が居て、試験会場での厳粛な試験でした。本当に学生に戻った気分楽しく学ばせて頂きました。この間に出会い、友達になった多くの方々は、私の財産です。

その時の事等々を今、走馬灯のごとく思い出されてまいります。

学びは「死を迎える時迄続く」そうです。私も卒業したから終わりではなく、今度はゆっくりゆっくり休みながら続けてまいります。

情報コース卒業 伊藤 彰希子さん

放送大学の入学から卒業まで長いようで短い月日だったと思います。入学時は希望に燃え、学習も順調に進めていけましたが、ある時期から思うように学習が進まず挫けそうになったこともありましたが、家族や放送大学で知り合った人達など、多くの人々に支えられて今年無事卒業を迎えることができました。これからはこれまでの学びを糧として過ごしていきたいと考えています。ありがとうございました。

生活と福祉コース卒業 中山 洋美さん

在学期間は14年か15年です。今回は3回目の卒業です。卒業研究も2回やりました。特に吉野由起先生の親切なご指導で完成させることができた『ファンタジーの文学性と教育性について』は、私のささやかな宝物です。この卒業研究の面接審査のために、わざわざ佐藤良明先生が三重学習センターまで来てくださったことは望外の幸せでした。

80代になってからは、学習は遅々として進まず、最後の「壁」は「Web受験」でした。スマートフォンすら持っていなかった私は結局「Web受験」では1回しか合格できませんでした。

年々魅力的な科目が登場する放送大学ですが、こらで一応「引退」ということにさせていただこうと思います。

生活と福祉コース卒業 藤牧 恵さん

この他にもメッセージをご寄稿いただいておりますが、ページの都合上掲載できていないものや、文章の一部を修正・削除した箇所がありますことをご了承ください。

卒業・修了おめでとうございます！

修了生・卒業生のひとこと

2年次編入からあっという間の3年間でした。心理に興味のある友達を作るのがもう1つの目標でしたが、コロナ禍もありチャンスがなかったのが残念です。それでも面接授業で生き方がにじみ出るような素敵な講義をしていただいた渡部千世子先生や山口昌澄先生に出会えたのは幸いでした。放送授業も目を開かれるものが多かったですが、様々な現場を歩かれた説得力のあるお話の高橋和夫先生が特に印象に残っています。ありがとうございました。

心理と教育コース卒業 大原 興太郎さん

二年前に一回目のコースを卒業した際、心機一転して新コースの学びを始めてから、あっという間に二年が過ぎ去った。規則正しい生活を目指して家庭菜園やウォーキング、カメラを携えての野鳥観察等と並行して進めてきた。学ぶことを通じて未知のことや新しい事柄に触れる楽しさは、時間の経つのも忘れてしまうことが多かった。この間の家内の協力や、日々のメール交換等で元気をけ与えてくれた友達等に感謝したい。今後は、余生を健康で過ごし続けるためにも、更に新たな三つ目のコースでの学びを続けることにしている。

生活と福祉コース卒業 若林 清一さん

まず、学習の6年間、私に関わっていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

私は、「学士号取得」を志し、就労しながら卒業を目指すことが出来る本校を選びました。学び進めると、学習の孤独感や自身の無知さに対峙する困難な中に取り込まれましたが、理解できた時の霧が晴れるような気持ちよさに熱を上げました。

しかし、学習3年目、COVID-19が感染拡大しました。そこで大胆にも単位の取得だけでなく深く学びたいと考え「卒業研究」に挑みました。取組みは容易くありませんでしたが、教授からの心のこもったご指導とゼミ仲間同士の濃い学び合いという充実した時間が、学士号に勝る習得になりました。豊かな学びと時間は放送大学特有です！

心理と教育コース卒業 H.Aさん

私は大手電機メーカー、工業高校、国立の研究所(国研)と転職したが、国研には国家公務員I種試験に合格して入った。その時に「教養は力だ!」と思ったのが、放送大学に入学した理由である。以来30年、専科履修生を中心に授業を受けてきたが、国研の後にさらに転職して鳥取大学の教授となった。定年退職が迫ってきたときに、退職後実家のある三重県に戻っても、鳥取を旅行者ではなく母校のある場所として再訪できると思ったのが放送大学を卒業した最初である。定年退職の年が2020年度。新型コロナ下で大学の授業は全てリモート化。ところが、放送大学で授業を受けていたので、すぐイメージで実務上も役立った。放送大学に感謝している。

人間と文化コース卒業 時任 洋史さん

私は2016年の10月放送大学に入学し、卒業研究を作成し2021年4月に卒業しました。2019年の秋に始まったコロナ禍の中で、私たちが卒業研究の指導を受ける「論文の書き方セミナー」は、毎土曜日の22時からZoomで行われました。セミナーは指導教授があらかじめ作成したレジュメに沿って行われるだけではなく、各自が自分の研究の途中発表をし、他の受講生がそれにコメントを寄せ、その後ブレイクアウトという流れで行われ、本当にエグゾースティングなものでした。

それでもなお、私が、卒業研究のあと修士論文に取り組んだ理由は、へとへとになりながらも、そこに「これぞアカデミック」という心が震えるような世界があったからです。それぞれテーマを掲げて研究に取り組むさまざまな年齢のハイスベックな人たちと渡り合うゼミの中で、私は自分の幼稚さをさらし続けたように感じています。ついに修士論文を書き上げたあとはまったく燃え尽き症候群に陥りました。

私が放送大学で学ぶことで得たものは、知識だけでなく研究をたえまなく続けている人たちとの出会いです。指導教授や修論ゼミで友達になった方々とのご縁は今後も続き、修士課程終了後も私が研究を続けるサポートを得ることが出来ます。皆様もぜひ、「アカデミックの沼」にはまっていたきたいと願い「卒業のひとこと」に寄稿させていただきました。

人文学プログラム卒業 伊藤 真利子さん

退任のご挨拶

三重学習センター客員教員
三重県立看護大学教授

あべ あきら
安部 彰



私事により、このたび三重学習センター客員教員の職を辞することとなりました。令和2年4月の着任以降なにかとお世話くださった三重学習センターのスタッフの方々、そして貴重な休日のお時間をさいてセミナーや面接授業にご参加くださった学生のみなさまに、衷心より御礼を申し上げます。

退職にあたりこの3年をふりかえてみて、やはりいちばん印象ぶかいのは学生のみなさんの「熱量」です。おなじレクチャーでも正直、(いわゆる)若者相手だと質疑応答はふつう盛りあがらないのですが、みなさん相手では勝手がちがいました。とくに面接授業では、授業中にも質問が飛んできて、それへの応答がさらに質問を呼び、それへの応答がまたさらなる質問を…とのように、こちらとしてはさながら波状攻撃を浴びる気持ちにさせられる一方、「これがあるべき大学の授業の姿だよなあ」と感心しておりました。というのも教員側もスムーズに授業が進行しているときには用意してきた話しかしないものです。しかし本来は、聴衆の反応をみつつ嘶家がその日にかける話を変えるように、学生とのかけあいをつうじて教員のポテンシャルが触発される…こうした展開こそ大学(哲学)の授業のあるべき姿であると、ぼくはかんがえているからです。かくして、ぼくはみなさんから、現前する人間の飽くなき学びへの欲望と意志、それに貫かれた学生との共同作業により活きた授業はつくられるということであらためて教えていただきました。本当にどうもありがとうございました。これからもどうぞ末永くお元気でいてください。

三重学習センター客員教員
三重大学大学院生物資源学研究科教授

うめざき てるひさ
梅崎 輝尚



令和4年4月から2年間、三重学習センター客員教員として、作物学に関するセミナーや面接授業を担当して参りましたが、令和6年3月をもちまして退任することになりました。退任に際して、ひとことご挨拶させていただきます。

私が放送大学に興味をもったのは、放送大学客員教授として活躍されていた渡部忠世先生の講義を受けた学生さんたちから、イネの伝搬経路や稲作文化の調査・研究のフィールドワークの現場であった東南アジアを訪れてみたいという要望に応じて始まったアジアの村を歩くツアーでした。渡部先生や放送大学の受講生と一緒にアジアの農村を廻りながら、作物学の知識だけでなく、文化的背景や研究遂行に関わる知恵を学ばせていただいたことは大きな財産です。学ぶということは本当に知りたいことを追及していこうとする好奇心と向上心による行動です。最近目は目の効率にばかり注目するひが多く、自分で考えることよりもすぐに解答を求める傾向がみられます。学び方に自由度の高い放送大学の存在は貴重です。私の授業、講演が受講生の琴線に触れることがあったのであれば幸いです。

最後に、三重学習センター客員教員という機会を与えてくださった前センター所長の清水先生をはじめ関係職員の皆様と受講していただいた学生の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。三重学習センターの益々のご発展と皆様のご多幸を祈念しております。

退任のご挨拶

三重学習センター客員教授 じょう せいしゅう
三重大学生物資源学研究科教授 常 清秀



令和 6 年 3 月を持ちまして放送大学三重学習センターの客員教員を辞任することになりました。センター長の梅川逸人先生をはじめ、事務長井上暢浩様、および職員の皆様には大変お世話になり、深く御礼を申し上げます。退任に際しまして、一言ご挨拶させていただきます。

私は令和5年度4月より学習センターの客員教員として、毎週木曜日 13:00 からの学習相談、5月から10月までの間、ほぼ月1回程度のセミナー、年末(12月)での公開講演会(1回)と面接授業(年1回2日にわたる)を担当させていただきました。

私の専門は、水産経済学分野です。三重学習センターでのセミナーや面接授業では、一般市民(=消費者)の関心が高いだろうと思われる生鮮食料品の流通をテーマにしました。セミナーでは、流通に関する基礎知識からスタートし、それから、生鮮食料品流通の仕組み、制度設計の理由と歴史的背景、および生鮮食料品流通システムの特徴と現状、特に我々が直面している問題点について、課題提起しながら、講義を進めてきました。

面接授業では、水産物に絞り、水産物の生産―流通―消費の全般にわたって、流通システムの仕組み、流通構造の変化、およびその変化をもたらした諸要因などについて、事例を挙げながら解説してきました。

私のセミナーや講義にご参加された皆さんは、仕事や家庭を持ち、また、年齢的にも、20代、30代の若者から、40代、50代の中年層、および65歳以上のいわゆるシニア世代の方もいらっしゃるため、私にとって、学習センターでの講義は、「教える場」であると同時に、「学ぶの場」にもなっていました。

毎回、セミナーや講義後、質疑応答の時間を設けていましたが、予定していた時間を大幅に超え、熱心に質問し議論されたことが数回ありました。皆さんの質問から、今の消費者の食生活の一側面を改めて認識できたことや、年齢階層別、受講生の皆さん(=消費者)の「食」に対する関心度や、また、具体的に何について、関心を持っているのかも、良く分かったため、私にとっても大変有益な時間となり、良い勉強の機会にもなっていました。この場をかりて、私の講義とセミナーにご参加された受講生の皆さんに深く感謝を申し上げます。

この度は、家庭の事情により、わずか1年間で辞任することにしましたが、大変楽しい時間を受講生の皆さんと一緒に過ごすことができまして、本当に嬉しく思っており、貴重な経験と思い出になると思います。

最後に、放送大学三重学習センターのますますのご発展をお祈り申し上げます。



退任のご挨拶

三重学習センター客員教員
高田短期大学子ども学科教授

やまぐち まさずみ
山口 昌澄



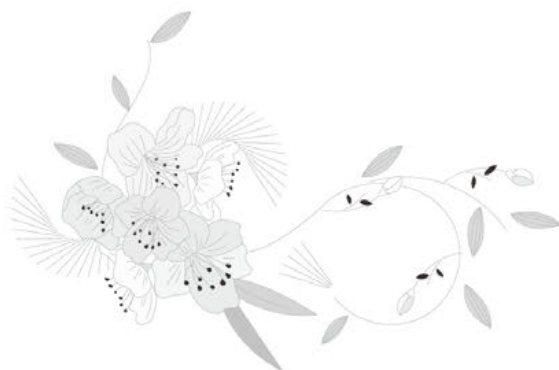
2022年4月より2年間、三重学習センター客員教員として発達心理学・教育心理学分野の学習相談、セミナー、講演会等を担当させていただきました。令和6年3月をもちまして退任することとなり、ひとこと挨拶申し上げます。

まず本センターでの教員活動を支えていただきました、所長の梅川先生を始めとして、職員の皆様の温かいサポート、細やかなお心遣いに心より感謝申し上げます。

さて、本センターや学生の皆様との関わりとしましては、客員教員就任以前より「心理学実験1」の面接授業担当をさせていただきました。この授業では、代表的・古典的な心理学実験を体験し、それについてレポートを提出するという内容です。私も通っていた大学の学部生時代、同様の授業を受けました。当時は心理学の知識も浅く、研究論文の書き方の初歩も分かっておりませんでしたので、成績は必ずしも芳しくありませんでした。そのような私が授業担当するなど、大変おこがましく、いささか申し訳ない気持ちもございました。しかし学生当時の事も思い浮かべながら、どのような伝え方が受講生の皆様の理解向上に役立つかを第一に考え、一生懸命取り組ませていただきました。

客員教員としては、学習相談が印象に残っております。学ぶ上での課題、研究、進路等、様々な角度から、深く鋭いご質問をお寄せいただきました。来談者様のニーズに応えるべく、改めて勉強し直すなど、同じ“学ぶ者”として、大いに刺激をいただき、ありがたく感じております。その他、特別講演会「心理学の視点でみる映画」も、センターの皆様のご理解とご支援により開催させていただきました。予想以上に多くの方に参加いただき、大変感激した次第です。

以上、思い出も尽きない、短くも実に濃密な教員生活を過ごさせていただきました。皆様の向学心に深い敬意を表するとともに、今後のご研鑽とますますのご健勝ご活躍を、心より祈念し、感謝のことばを締めさせていただきますと思います。



客員教員就任のごあいさつ

三重学習センター客員教員
三重大学生物資源学研究科教授

かりた しゅういち
荻田 修一



2024年4月より、三重学習センターで客員教員を務めることになりました、荻田修一と申します。皆様よろしくお願いをいたします。本務校は、三重大学大学院生物資源学研究科に属しており、食品発酵学教育研究分野で、微生物学を教えております。

微生物という生物は、地球上で最も多く存在する生物で、植物と動物を除けば、ほとんどの生物が微生物学という学問の範疇に入っています。身近な微生物といえば、乳酸菌とか、食中毒の原因となる細菌(大腸菌O157とか)とか、ニュースで話題になるものが多いかと思います。微生物には、酸素を使わず呼吸するものもいます。光合成するものもいます。地層の中で数億年も生きているもの、深海の底から、エベレストの頂上まで、地球上のありとあらゆる環境に適応して生息しています。また、微生物は、様々な活動を通して、人類とも関わっています。例えば、植物に必要な栄養素を供給する微生物、排水処理などで環境を浄化する微生物、医薬品や食品を生産する微生物など、病原菌だけでなく、人の生活に役立つ微生物もたくさん存在しています。残念ながら、日本の教育の中では、高校までの間に微生物学を学ぶことは、ほとんどありません。

しかしながら、我々は、古くから微生物の恩恵をこうむって来ました。例えば、酵母菌によるアルコール発酵で、暑い夏にビールを飲むことができます。ワインを飲みながら語り、鍋を囲んで日本酒を飲みながらワイワイできるのも、酵母菌のおかげです。お刺身に醤油をかけ、朝食は、ご飯に味噌汁と納豆を食べ、魚の煮付けや煮物には味醂を使う。醤油や味噌、味醂も麹菌という微生物により生産されます。酢を作る酢酸菌のおかげで、お寿司を食べることができます。さらに、出汁をとるための鰹節を作るのにも、カビという微生物が働きます。チーズや、ヨーグルトなどの乳酸菌をはじめ、漬物にも乳酸菌や酵母は働いており、日々、我々は微生物と共に生活しています。

微生物は、縁の下での力持ちでもあり、地球環境を支えています。大気中に窒素が豊富なのも、酸素があるのも、微生物が作ってきました。環境浄化をはじめ、食品廃棄物の堆肥化など環境の維持に微生物は大きな役割を担っています。また、草食動物をはじめとして、腸内細菌が、動物の栄養供給に欠かせない存在であることがわかっています。牛などの草食動物は腸内の微生物の作る酵素により藁を消化することができ栄養にすることができます。また、最近では、人においても、腸内細菌が健康や心に影響を与えることが次第に明らかになってきています。

私の授業では、このような微生物について、基本的なことを学習するとともに、どんなところで、どのような微生物が活躍しているのか学びます。また、微生物の特徴を理解することにより、健康や食生活、さらに地球環境について議論できればと思います。目に見えない微生物が、実はとっても大きな仕事をしているとわかってもらえると嬉しいです。よろしくお願いをいたします。



客員教員就任のごあいさつ

三重学習センター客員教員
三重大学学生総合支援機構講師

すずき
鈴木

えいいちろう
英一郎



2024年4月より、三重学習センターで客員教員を務めることとなりました、鈴木英一郎と申します。学習相談(毎週金曜日 10 時～ 12 時)、およびほぼ 2 か月に 1 回のペースでのセミナー(土曜日 10 時～ 11 時半)と公開講演会(3 月)を担当させていただくことになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

専門は臨床心理学で、本務校の三重大学では、心の健康や心理療法・カウンセリングに関する授業も担当していますが、主な業務は、「学生なんでも相談室」という場所で行う大学生に対するカウンセリングです。

相談室で彼らの語りを聞いていると、現代社会の歪みや、失われてはいけない何か、などが時に映し出されているように感じられることがあります。

例えば、皆さんは“タイパ”という言葉をご存知でしょうか。タイパとは「タイムパフォーマンス」の略で、費やした時間に対する満足度、つまり「費用対効果」ならぬ「時間対効果」を表す言葉で、昨今、大学生などの若者の間で広く使われるようになっていきます。それだけ、若者を取り巻く環境においては、情報処理のスピードアップが求められているということなのでしょう。そして、一方では、その過剰なスピードについていけず調子を崩してしまうような学生もいます。

実際、現代社会は過剰に効率性を求める風潮になっているように感じられます。もちろん、効率性を求めること自体は必ずしも悪いことではないでしょう。しかしながら、無闇に情報処理のスピードアップを図ることは、誤った判断をより多く誘発するというリスクも伴っているのではないのでしょうか。つまり、「本当は『必要ではない』のに『必要』と判断してしまったもの(こと)」「本当は『必要』なのに『必要ではない』と判断してしまったもの(こと)」を多く生み出す危険をはらんでいるのではないかと想像します。そう考えると、現代社会で見られる様々な問題も、実は各個人や社会によるこうした判断ミスに伴って起こっているようにも感じられてきます。心理療法やカウンセリングとは、自身の中のこれらについて、もう一度ゆっくり再検討する機会をもつこと、と言い換えることもできるかもしれません。こんな時代だからこそ、効率性の名のもとに失ってしまっているゆとり、また時間をかけて熟成するものの価値についても、大事にしたいものです。

さて、私が担当するセミナーでは、心理療法で用いられる各種技法について、「なぜ心理的問題の解決にそれが効果を発揮するのか」という点を中心に、演習も交えて解説をしていきたいと考えています。心理療法の技法、と聞くと、なんだか専門的で難しそうなイメージを持たれるかも知れませんが、そのエッセンスを上手に応用することによって、日常的な困りごとの解決や、ご自身のメンタルヘルスの維持にも役立てることができるでしょう。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



客員教員就任のごあいさつ

三重学習センター客員教員
三重大学人文学部特任教授

ふじ た しん や
藤田 伸也



2024 年 4 月より三重学習センターで客員教員を務めることになりました藤田伸也です。私は三重県で生まれ育ち、東京の大学で美術史を学び、奈良の美術館・大和文華館で学芸員を 10 年余り務めました。その後、三重大学人文学部に移りました。ふるさとでの教員生活は楽しく、いつの間にか齢を重ね、今春定年を迎えることになりました。

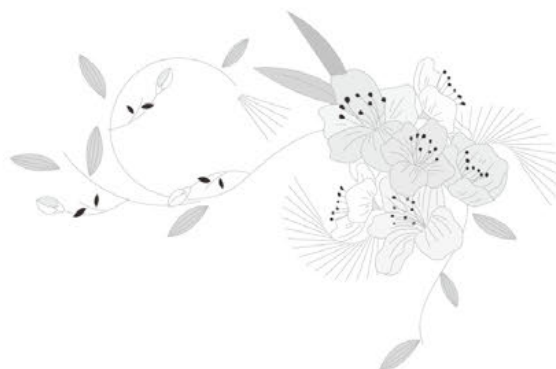
私が専門とする美術史学は美術の歴史を学ぶ学問で、人類が生み出した文化の精髓ともいべき芸術作品を研究の対象とします。その起源は他の学問と同様に西洋古代にあります。美術遺跡ガイドとして読まれた 2 世紀ギリシアのパウサニ阿斯『ギリシア案内記』や、芸術家や作品を記録したプリニウス『博物誌』は美術史の原型とされます。こうした史跡探訪ガイドと美術作品解説および芸術家の伝記紹介の伝統は現在まで続くもので、一般の人が接することの多い美術史研究の成果です。

美術史が学問的に発展するきっかけとなったのが、ルネサンス期のヴァザーリによる『芸術家列伝』です。彼は歴史的に美術の発展を記述しました。その後は画家や流派の作品を様式（スタイル）の面から分類整理する様式研究が進みました。また美術収集に不可欠な真贋判定を行う目利きの鑑定家が活躍し始めます。20 世紀に入ると、作品を図像の面から研究する図像解釈学（イコノロジー）が盛んになり、美術作品が表している宗教的・思想的・文化的意味を論じることに関心が移っていったのです。

現在、美術史の研究対象は広がっています。日本ではマンガとアニメが戦後大衆文化の中心的存在として爆発的に発展し、優れた作品が生み出されました。世界的に有名なミュージアムであるルーヴル美術館や大英博物館で大規模な日本のマンガ展が開かれ、子供の頃からの趣味が高じて研究のために来日する留学生も増えています。

さて、三重学習センターでの業務についてお知らせしますと、毎週水曜日午後が学習相談日です。対面式の集中授業は後期開講を予定しており、中国絵画史を中心に日本の水墨画についてもお話するつもりです。日本には多数の中国絵画作品が所蔵されていて、国宝の絵画 166 件のうち 28 件は、海を越えて渡ってきた唐時代から元時代の作品なのです。授業ではそれらの国宝を中心に東洋絵画の魅力を詳しく説明し、中国と日本の伝統的絵画の見方を深めていきたいと思っています。また、客員教員セミナーは 6 月から 12 月にかけて 5 回行います。

一人でも多くの方が美術を鑑賞し学習することの素晴らしさを身につけることが美術史研究者としての務めだと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。



教員就任のごあいさつ

三重学習センター客員教員
三重県立看護大学看護学部准教授

もりした なおき
森下 直紀



2024年4月より三重学習センターで教員を務めることになりました。三重県津市（旧久居市）出身です。

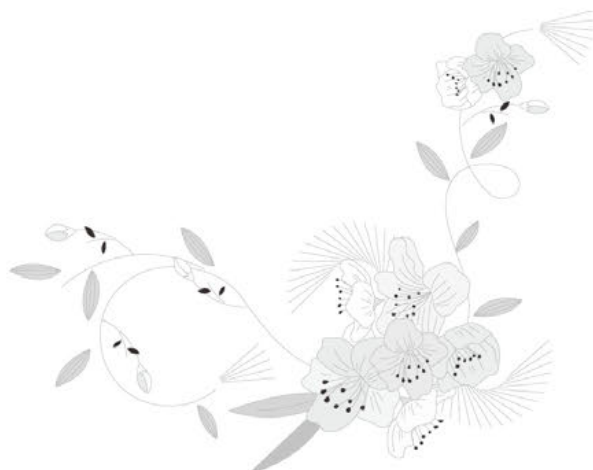
2022年4月に三重県立看護大学に着任し、環境学や市民活動論を主に担当しています。専門は環境史、科学技術社会論で、カナダ先住民の公害問題と権利回復運動について研究しています。カナダ先住民に対する文化的な同化政策や、産業政策による被害を受けながらも、土地とともに伝統的な文化を取り戻そうとする先住民の社会に学んでいます。

三重学習センターでは、学生相談（毎週火曜日午後）とほぼ月1回のペースでのセミナーを担当いたします。セミナーでは、地域とエネルギーというテーマで講義を展開していきたいと考えています。いま世界は特に電気エネルギーの創出方法の一大転換期にあります。日本も例外ではなく、再生可能エネルギーの普及は急激に進みつつあります。三重県は、電気エネルギーを自給することができのでしょうか。私は、故郷に戻るまでの9年間を東京都町田市で過ごしてきましたが、そこでの仲間たちと市民発電所を設立したり、地域のエネルギーについて考えたりしてきました。その経験を、津市や三重でも実践していきたいと思います。

他方で、近年の風力や太陽光を中心とした再生可能エネルギーの地域での普及は、様々な地域内の問題を生じさせてもいます。風力発電所や太陽光発電所の設置に伴う景観破壊問題や、適切な排水設備の不備による土砂災害リスクや、風車の影響による野生生物の減少や健康被害などが問題になっています。先日、三重県庁の職員とお話をする機会があり、県内の再生可能エネルギー事業者の過半数以上が県外事業者であるということを伺いました。身の回りの自然環境と生活に必要なエネルギーをどのように考えていったらよいのか、地域自治の視点からともに考えていきたいと思っています。

講義では、上記の基本的な考えを議論したのちに、世界的な脱炭素や気候変動対策としてのエネルギー創成の傾向を学習するとともに、三重県の電力供給の歴史や原発設置計画の経緯を学び、地域目線で今後の三重県のエネルギー自治について、受講者とともに検討していきたいと考えています。

県内における、市民活動にも積極的に関わっていきたくと思っていますし、実際に連携する活動もいくつか出てきていますが、三重学習センターに集う多様なバックグラウンドを持つ皆さんと、地域課題について議論しながら、新たな市民活動へと展開していけることを期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。



三重学習センター客員教員によるセミナー・公開講演会

三重学習センター所属客員教員のセミナー、公開講演会をご案内します。

三重学習センターには所長と6名の客員教員がいます。先生方は面接授業やセミナー、公開講演会での講義を担当されています。また、学習センターへの出勤日に学習相談することも可能です。出勤日は各先生のページ「学習相談」の項目でご確認ください。(お休みの場合もあります。)

○各ページ項目のご紹介

学習相談

所長・客員教員に学習相談ができます。先生方それぞれの専門分野に関わる相談の他にも、授業のことや、大学生活のことなど、お気軽にご相談ください。ご希望の方は学習センターまでお申し込みください。

お申込み

必要事項を記入した「学習相談票」を添えて、希望相談日の1週間前までに、下記のうちいずれかの提出方法で、三重学習センターまでお申し込みください。

〈提出方法〉

- ①三重学習センターへ来所
- ②FAXで送信(送信先:059-233-1179)
- ③E-mailで送信(送信先:mie-sc@ouj.ac.jp)

学習相談票データは
こちらから→



セミナー

客員教員の専門分野について、1年で全5回の講義を受けることができます。放送大学の学生のみ受講可能で、受講料はかかりません。全ての回を受講する必要はなく、好きな回のみ受講も可能です。ご希望の方は学習センターまでお申し込みください。

お申込み

お申し込み方法は、各セミナー紹介欄にあるQRコードから申し込みフォームを開き、必要事項をご入力していただくか、電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。

公開講演会

客員教員が年に1回行う講演会で、学生の他に一般の方もご参加いただけます。ご家族やお友達に放送大学が気になっている方がいらっしゃったら、ぜひ誘っていただき一緒にご参加ください。

お申込み

電話・メール・来所・WEBのいずれかにて。必要事項「お名前、お電話番号、お住まいの市町、メールアドレス(お持ちの場合)」を添えてお申し込みください。

WEB申込は
こちらから→





学習相談

火～土曜日 10:00～17:00

うめかわ はやと

梅川 逸人 所長

専門

栄養化学・薬理学・生化学

三重学習センター所長



学習相談

木曜日 9:00～12:00

かりた しゅういち

苅田 修一 先生

専門

応用微生物学

三重学習センター客員教員／三重大学生物資源学研究科教授

セミナー

微生物のはなし

肉眼では見ることができない生物である微生物について基本を学ぶとともに、乳酸菌や酵母などの発酵微生物など、人に役立つ微生物について紹介します。



回 タイトル	概要	開催日時 会場
第1回 微生物とはどんな生き物	微生物とはどんな生物で、我々の身の回りでどのように生きているのか、微生物にはどんな種類がいるのかを紹介します。	令和6年5月18日(土) 10:00～11:30 中研修室
第2回 バクテリアとはどんな微生物	バクテリアと呼ばれる微生物について、その種類や分類、病原菌や役立つものを紹介します。環境における役割などを紹介します。	令和6年7月13日(土) 10:00～11:30 多目的教室
第3回 酵母やカビはどんな微生物	酵母とカビといった微生物を紹介します。特に、日本酒、味噌、醤油などでも利用される酵母や麹カビといった微生物を紹介します。	令和6年8月24日(土) 14:00～15:30 小研修室1
第4回 乳酸菌は役立つ	近年増加している市販されている乳酸菌について、その種類や役割、人に対する効果などを紹介します。	令和6年9月28日(土) 10:00～11:30 多目的教室
第5回 アルコール発酵における微生物	酵母によるアルコール発酵について、日本酒などの発酵メカニズムを紹介しながら、発酵の原理を紹介します。	令和6年10月19日(土) 10:00～11:30 小研修室1

公開講演会

黒やぎさんは、 なぜお手紙を食べたか	草食動物は、草や紙を食べて生きることができます。どうして、人は、紙を食べることができないのでしょうか。消化管微生物を紹介しながら、食べることと、温暖化防止における微生物の活用について考えます。	令和6年11月16日(土) 10:00～11:30 小研修室1
-----------------------	--	---------------------------------------



学習相談

金曜日 10:00~12:00

すず き

えい い ち ろ う

鈴木 英一郎 先生

専門

臨床心理学

三重学習センター客員教員／三重大学学生総合支援機構講師

セミナー

心理療法・カウンセリングの実際

心理療法やカウンセリングで実際に使われる各種理論や技法を分かりやすく紹介・解説することで「心理療法やカウンセリングって意味あるの?」「カウンセラーって何する人なの?」という疑問にお答えするとともに、ご自身のメンタルヘルスの維持にも役立つ情報をお伝えできればと思います。



回 タイトル	概要	開催日時 会場
第1回 カウンセリングの基礎 (クライアント中心療法)	「クライアント中心療法」と呼ばれる理論や技法の解説を通して、カウンセリングの基礎について学びます。	令和6年6月29日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第2回 行動療法	悩み事や困り事を「刺激と反応」という観点から分析して対策を考えていく「行動療法」と呼ばれる理論や技法をご紹介します。	令和6年8月3日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第3回 認知行動療法	「考え方のクセ」が行動に影響を及ぼす過程に注目していく「認知行動療法」と呼ばれる理論や技法をご紹介します。	令和6年10月12日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第4回 マインドフルネス	「ストレス」の解説から進めて、そのストレスをさらに膨らませることなく“受け流して”いくアプローチである「マインドフルネス」と呼ばれる理論や技法についてをご紹介します。	令和6年12月21日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第5回 ナラティブセラピー (物語療法)	「人が問題なのではなく、“問題”が問題なのである」をコンセプトに、人生という物語を再著述するという発想で進める「ナラティブセラピー」と呼ばれる理論や技法についてをご紹介します。	令和7年2月8日(土) 10:00~11:30 多目的教室

公開講演会

心理的問題は「原因」よりも 「解決」から考えよう — 解決志向アプローチ —	心理的な問題に対処しようとする際、我々は「どうしてそうなってしまったのか?」(原因)という観点から考えがちですが、多くの場合その答えははっきりしません。それならば、「これからどうなりたい?」という問いから始める方が前向きな気がしませんか? 当講演では、そんな心理支援の方法について、演習も交えてご紹介したいと思います。	令和7年3月8日(土) 10:00~11:30 多目的教室
--	---	-------------------------------------



学習相談

木曜日 13:00~16:00

たにぐち ひろのぶ

谷口 裕信 先生

専門

歴史学（日本近代史）

三重学習センター客員教員／皇學館大学文学部教授

セミナー

伊勢御師と檀家の近代

全国各地に檀家を抱え、神宮への参宮をコーディネートした伊勢御師。近代になると明治政府によって廃止され、檀家との関係は断ち切られます。御師廃止の実態はどうだったのか、伊勢御師の事例をいくつか取り上げながら、検討してみたいと考えています。



回 タイトル	概要	開催日時 会場
第1回 御師廃止と 内宮方御師岩井田家①	1871年（明治4）の御師廃止の背景やその影響について、当時の岩井田家当主だった尚行が乗り出した旧檀家との関係再構築を事例に検討します。	令和6年6月1日（土） 14:00~15:30 小研修室1
第2回 御師廃止と 内宮方御師岩井田家②	旧檀家との関係を再構築した尚行が亡くなった1890年代後半以降、両者の関係性はどのように推移していったのかについて見てみましょう。	令和6年7月6日（土） 14:00~15:30 小研修室1
第3回 御師廃止と 外宮方御師橋村家	九州北部に多くの檀家を抱えていた外宮方御師の橋村家。橋村家に残された幕末から1910年代初頭（明治末）にかけての参宮人帳を手がかりに、橋村家と旧檀家との関係性の推移を確認します。	令和6年9月21日（土） 14:00~15:30 小研修室1
第4回 内宮方御師屋敷跡地をめぐる （フィールドワーク※）	岩井田家をはじめとして、浦田家、澤瀉家など宇治（内宮方）を代表する御師の屋敷は、現在どのようになっているのでしょうか。第1回・2回のセミナーの内容をふまえつつ、幕末の頃の絵図を手に現地を歩いてその跡をたどってみたいと思います。	令和6年10月12日（土） 14:00~15:30 伊勢市 現地集合・現地解散予定
第5回 外宮方御師屋敷跡地をめぐる （フィールドワーク※）	山田（外宮方）の御師には、橋村家のほか龍家や三日市家など、伊勢御師でも有数の規模を誇った家々がありました。現地を実際に歩いてその跡をたどってみましょう。	令和7年2月15日（土） 14:00~15:30 伊勢市 現地集合・現地解散予定

※フィールドワークに参加する場合、学生教育研究災害傷害保険の加入が必須です。

公開講演会

伊勢御師廃止後の 宇治山田旅館業	伊勢御師が担っていた旧檀家の宿泊は、御師廃止によって自由化されました。参宮者と旧御師との関係性が流動化し、また神宮が国家管理下に置かれるといった近代の宇治山田に及んだ変化が、当地の旅館業に与えた影響について考えます。	令和7年3月15日（土） 14:00~15:30 多目的教室
---------------------	--	--------------------------------------



学習相談

火曜日 9:00~12:00

たばた けんたろう

田畠 健太郎 先生

専門

アメリカ文学

三重学習センター客員教員／三重大学人文学部准教授

セミナー

英語セミナー

英語の基本的な文法や語彙を確認しながら、日常の会話や文章から文学作品の英語まで、さまざまな種類の英語を読んで、多様な言語表現を学び体験するとともに、自分の興味にあわせて独力で英語の勉強を続けられる基礎力を身につけます。



回 タイトル	概要	開催日時 会場
第1回 TOEIC®リスニング問題の 会話英語	国際ビジネスコミュニケーション協会主催のTOEIC®テストのリスニング問題を題材に、日常的な状況での英語会話表現を学び、慣用的な表現を覚えます。	令和6年5月11日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第2回 TOEIC®リーディング問題の 文章英語	国際ビジネスコミュニケーション協会主催のTOEIC®テストのリーディング問題を題材に、広告やメールなど日常的な状況での英語文章表現を学び、慣用的な表現を覚えます。	令和6年6月8日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第3回 アーネスト・ヘミングウェイの 「三つの銃声」を英語で読む	20世紀アメリカ文学を代表する小説家アーネスト・ヘミングウェイ (Ernest Hemingway) の(生前未発表)短編「三つの銃声 (Three Shots)」を扱います。セミナーでは、作品理解もさることながら、まずは英文和訳の演習形式で一緒に原文を読み、学習英文法的な解説もたっぷり行います。	令和6年10月26日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第4回 リチャード・ライトの 『ネイティブ・サン／ アメリカの息子』を英語で読む	20世紀アメリカ文学を代表するアフリカ系の小説家リチャード・ライトの『ネイティブ・サン／アメリカの息子 (Native Son)』を扱います。この作品は去年、新潮文庫で新訳も出ました。セミナーでは、アメリカの人種問題や作品の理解もさることながら、まずは英文和訳の演習形式で一緒に原文を読み、学習英文法的な解説もたっぷり行います。	令和6年12月14日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第5回 ケン・リュウ「紙の動物園」を 英語で読む	現代のアメリカ SF 文学を代表する中国系の短編小説家ケン・リュウの「紙の動物園 (The Paper Menagerie)」を扱います。セミナーでは、作品理解もさることながら、まずは英文和訳の演習形式で一緒に原文を読み、学習英文法的な解説もたっぷり行います。	令和7年2月1日(土) 10:00~11:30 多目的教室

公開講演会

江戸川乱歩「押絵と旅する男」 を英語で読む	三重県出身の作家江戸川乱歩の「押絵と旅する男」の英訳 ("The Traveler with the Pasted Rag Picture") を、日本語原文と照らし合わせながら読んで、作品理解もさることながら、英語表現や翻訳の意義などについて考えます。また、英文和訳・和文英訳の演習形式で一緒に英訳の一部を読み、学習英文法的な解説もたっぷり行います。	令和6年9月28日(土) 10:00~11:30 小研修室1
--------------------------	--	--------------------------------------



学習相談

水曜日 13:00~16:00

ふじ た しん や

藤田 伸也 先生

専門

美術史学

三重学習センター客員教員／三重大学人文学部特任教授

セミナー

日本文化としての国宝中国絵画

日本で国宝に指定されている絵画 166 件のうち 28 件は、海を越えて渡ってきた唐時代から元時代の中国絵画作品です。セミナーではそれらの作品を詳しく説明し、日本文化に与えた影響の大きさについて考察します。



回 タイトル	概要	開催日時 会場
第1回 国宝・重要文化財と 請来美術	国宝とは何でしょうか。日本の文化財保護法による指定制度と、重要文化財と国宝の違いについて解説します。古くから日本にもたらされた美術品は日本美術の源であり、日本文化の一部といえます。そうした「請来美術」と日本の海外文化摂取のあり方について考えてみましょう。	令和6年6月15日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第2回 国宝の唐宋仏画	弘法大師空海が請来した「真言五祖像」(京都・東寺蔵)は世界的にも珍しい中国唐時代の絵画作品です。大津・園城寺には、同じく平安時代の入唐僧の円珍が持ち帰った「五部心観」が伝わります。また宋代絵画の最高傑作「孔雀明王図」(京都・仁和寺蔵)の魅力を詳しく説明します。	令和6年7月6日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第3回 国宝「無準師範像」 と寺宝の数々	京都・東福寺所蔵の「無準師範像」は聖一国師弁円が師の無準師範から与えられた、南宋時代の禅僧肖像画(頂相)の代表作。入宋僧の裔然が請来したとされる「十六羅漢像」(京都・清凉寺蔵)は数ある羅漢図の最高峰。作品とともに所蔵寺院を紹介し、墨蹟などの関連作品にも言及します。	令和6年10月5日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第4回 国宝「桃鳩図」と 皇帝の絵画	日本には南宋時代の宮廷絵画が多数伝来します。多くは重要文化財とされ、とくに優れた作品が国宝に指定されています。伝徽宗皇帝筆「桃鳩図」や李迪筆「紅白芙蓉図」(東京国立博物館蔵)などの写実的で装飾性も兼ね備えた優美な作品の数々をご紹介します。	令和6年11月9日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第5回 国宝の牧谿筆「観音 猿鶴図」と禅宗絵画 の世界	南宋時代から元時代にかけて活躍した禅僧画家が余技として描いた絵画は中国にはほとんど残っていませんが、日本には多数伝わっています。室町時代以後、最高の絵画とされた牧谿筆「観音猿鶴図」(京都・大徳寺蔵)を中心に禅宗絵画の世界について考えます。	令和6年12月7日(土) 10:00~11:30 小研修室1

公開講演会

国宝の中国絵画と 故宮博物院の名品	日本には多くの中国絵画作品がもたらされましたが、とりわけ好まれたのが南宋時代の宮廷絵画と禅僧画家の作品です。前者の代表的画家は山水では李唐・馬遠・夏珪、花鳥では李安忠・李迪で、後者の筆頭は牧谿です。日本で愛玩されてきた国宝の絵画と中国の正統的なコレクションである故宮博物院の名品を比較しながら、中国と日本の芸術文化を考えてみたいと思います。	令和7年1月11日(土) 10:00~11:30 小研修室1
----------------------	--	--------------------------------------

(みえアカデミックセミナー 2024)

毎年夏の恒例行事、三重県生涯学習センター主催の「みえアカデミックセミナー」にて藤田先生が講演します。

タイトル等の詳細は決まり次第お知らせします。	令和6年8月9日(金)13:30~(開場13:00) 三重県総合文化会館1階レセプションルーム (定員100名)
------------------------	--

主催・お申込み先は、三重県生涯学習センターまで。

※放送大学三重学習センターではありませんのでご注意ください。



学習相談

火曜日 13:00~16:00

もりした

なおき

森下 直紀 先生

専門

環境史・科学技術社会論

三重学習センター客員教員／三重県立看護大学看護学部准教授

セミナー

地域とエネルギーを考える



回 タイトル	概要	開催日時 会場
第1回 エネルギー自治について 考える	三重県内を事例に、地域のエネルギー自治について、東京都町田市と比較しながら検討していきます。私たちがどの程度のエネルギーを日々利用しているのか、その内訳と再生可能エネルギーの導入可能性について検討します。	令和6年4月27日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第2回 再生可能エネルギー普及の 地域的課題	三重県における再生可能エネルギー普及の地域的課題について検討します。	令和6年5月25日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第3回 景観論争としてのアメリカ 国立公園開発の歴史	太陽光発電パネルの普及に伴って問題化している景観問題に関連して、世界初の国立公園論争を紹介します。合わせて脱人間中心主義の歴史についても検討します。	令和6年6月22日(土) 10:00~11:30 小研修室1
第4回 原子力発電と地域	日本における原子力発電の歴史を紹介したうえで、地域における原子力関連施設の導入について検討します。事例として、芦浜原子力発電所計画にも触れる予定です。	令和6年7月27日(土) 10:00~11:30 多目的教室
第5回 気候変動対策としての 原発を考える	人為的な気候変動が問題となってきた歴史を紹介したうえで、現在の気候変動対策としての原発を検討します。	令和6年8月24日(土) 10:00~11:30 小研修室1

公開講演会

100%の電気エネルギーの 地域自給は可能か？ その実現性を考える。	太陽光発電所や風力発電所は、年々増加しつつある。電気エネルギーも地産地消することは可能だろうか。地域データを基に、電気エネルギーの地域自給を、ヨーロッパなどの先進地域の事例とともに議論していきます。	令和6年10月26日(土) 14:00~15:30 小研修室1
--	---	---------------------------------------

2024年度第1学期 面接授業の追加登録方法について

事前受付期間：2024年4月13日（土）～4月17日（水）
追加登録期間：2024年4月18日（木）～科目ごとに定められた追加登録受付期日
追加登録対象科目：2024年4月27日（土）以降に開講する空席の生じている科目

事前受付とは？

事前受付期間に郵送・FAX・Eメール・直接持参により申し込みを受け付け、追加登録期間初日に「**抽選方式**」にて追加登録者を選ぶ方法です。

追加登録とは？

事前受付期間後にも空席がある科目を追加登録期間内に「**先着順**」で登録を受け付ける方法です。

【事前受付のながれ】（抽選方式）

空席状況の確認 ↓	4月13日(土)12:00空席発表 ○放送大学ウェブサイトの「お知らせ」で確認する。 ○三重学習センターに電話で確認する。 ○三重学習センターの事務所前掲示板で確認する。
事前受付 ↓	4月13日(土)12:00～4月17日(水)必着 （FAX/Eメールは17時まで） ○面接授業科目追加登録申込書に必要事項を記入し、郵送・FAX・Eメール・直接持参のいずれかで三重学習センターへお申し込みください。（開設科目は右ページ参照）
抽選結果発表 ↓	4月18日(木)10:30～12:00の間に三重学習センターから結果をメールか電話で連絡 *希望の連絡方法は「面接授業科目追加登録申込書」に記載してください。 *科目決定後のキャンセルはできません。
登録手続き (授業料納付)	4月18日(木)～4月25日(木) ○登録許可科目の 授業料と学生証のコピー、返信用封筒(宛名明記・84円切手貼付)を現金書留 にて送付、または授業料と学生証を三重学習センターに 直接持参し 、手続きを行ってください。 *現金書留でのお申込みの場合、科目登録決定通知書(兼領収書)は郵送します。 *4月25日17時までに授業料が納入されない場合、追加登録許可が取り消されますのでご注意ください。

【追加登録のながれ】（先着順）

空席状況の確認 ↓	事前受付期間後に空席のある科目の空席確認 4月18日(木)10:30～随時 ○事前受付の場合と同じ方法でご確認ください。
登録手続き (授業料納付)	4月18日(木)～科目ごとに定められた追加登録受付期日 ○必要事項を記入した「面接授業科目追加登録申込書」と授業料、学生証を直接、三重学習センターに持参し、手続きを行ってください。 *原則来所での登録ですが、事前受付後も空席の多い科目については郵送でも受け付けます。三重学習センターへお問い合わせください。

【注意】・指定された期間以前・以後に届いた申請書は受理できません。

- ・事前受付の登録（授業料納付）期間の手続き、追加登録期間の手続きで三重学習センターにお越しの際は、開所時間内にお越しください。
- ・事前申請者の入金状況によっては4月25日（木）以降に空席が出ることもあります。最新の状況をご確認ください。

2024年度第1学期面接授業の 開設科目一覧（三重学習センター）



科目区分	開設科目名 (担当講師)	科目コード	開講日程	受付期限
専門科目: 社会と産業	食と農をめぐるSDGs (森 久綱)	2642816	4月20日(土) 21日(日)	受付なし
専門科目: 心理と教育	心理学実験1 (山口 昌澄)	2636360	4月20日(土) 21日(日)	受付なし
専門科目: 心理と教育	カウンセリングの基礎 (高崎 順子)	2642794	5月11日(土) 12日(日)	5月 2日(木)
専門科目: 自然と環境	高分子の基礎 (伊藤 敬人)	2642832	5月18日(土) 19日(日)	5月11日(土)
専門科目: 社会と産業	建築家の設計過程をたどる (富岡 義人)	2642778	5月25日(土) 26日(日)	5月18日(土)
専門科目: 心理と教育	成人学習理論を学ぶ (岩崎 久美子)	2642808	5月25日(土) 26日(日)	5月18日(土)
導入科目: 自然と環境	食と栄養 (三島 隆)	2642760	6月 1日(土) 2日(日)	5月25日(土)
基盤科目	新・初歩からのパソコン (張 磊)	2636220	6月 1日(土) 2日(日)	5月25日(土)
専門科目: 心理と教育	心理学実験3 (小池 敦)	2636409	6月15日(土) 16日(日)	6月 8日(土)
専門科目: 人間と文化	古墳(大倭)時代の三重県 (岡田 登)	2642824	6月29日(土) 30日(日)	6月22日(土)
専門科目: 生活と福祉	規範倫理学 (安部 彰)	2642786	7月 6日(土) 7日(日)	6月29日(土)

●授業によって、教科書の事前購入や当日の持ち物などが指定されています。





学習に関するお知らせ

● 通信指導について

参照 『学生生活の栞』

学部 P.63～68 大学院 P.63～68

放送授業が行われる科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に1回前半の一定の範囲で出題されます。

問題は、基本的に印刷教材と一緒に発送しますが、**5月8日(水)**までに届かない場合は本部まで連絡してください。(総合受付:043-276-5111)

また、一部の科目を除き、システムWAKABAにて通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web通信指導」が利用可能です。「Web通信指導」で通信指導問題の提出(送信)を行った場合は、郵送による提出は不要です。

通信指導提出期間

郵 送

5月15日(水)～5月29日(水)《本部必着》

Web 通信指導

5月8日(水)10:00～5月29日(水)17:00

★通信指導に合格しなければ単位認定試験が受験できません。
提出期限にご注意下さい！



● 単位認定試験を三重学習センターで受験希望の方へ

参照 『学生生活の栞』 学部 P.69～70 大学院 P.69～70

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、自宅等で受験が困難な方は、学習センターで受験ができます。

ご希望の方は、次により受験場所の変更手続きをしてください。

〈申請方法〉

1. システム WAKABA で変更手続き

「教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験場所変更」

2. 単位認定試験受験場所変更願(学生生活の栞巻末様式)を郵送提出

〈受付期間〉**2024年4月1日(月)～2024年5月24日(金)《郵送時必着》**

〈郵送宛先〉〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11

放送大学学務部学生課単位認定試験係

《注意事項》

- ・学習センターのパソコンで受験していただきます。
- ・受験場所変更の申請は1学期間に1回のみ可能です。
- ・出願時に「学習センター受験」を選択した場合は変更する必要はありません。
- ・2023年度第2学期に学習センターで単位認定試験を受験し、2024年度も継続して在学している学生は自動的に「学習センター受験」となります。

三重学友同窓会だより

*2024年度年次総会と公開講演会のご案内

第10回年次総会が、2024年5月16日(木)に三重県総合文化センター生涯学習棟視聴覚室において開催されますので、多くの会員の出席を期待します。予定している総会後の公開講演会の演題及び講師は検討中です。在学生はもちろん一般の方の聴講も歓迎です。

一般の方は三重学習センター事務局に申し込んで下さい。

同時に「古書バザー」も実施します。



*忘年茶話会のアンケートから

2023年12月13日(水)に実施した学生忘年茶話会についてのアンケート(21名回答)を集約すると、

- ①毎年参加と久しぶりに参加が12名、初参加は5名で、メールや口頭での誘いでの参加した方が多く、次年度以降の周知法の工夫が必要でしょう。
- ②今回の会費・目的・内容については「よい」との回答が全員で、内容では個々のスピーチとビンゴゲームが好評でした。
- ③自由記述に、参加者を増やす工夫が必要との意見がありました。努力しましょう。



23年度学生忘年茶話会

*春の学生交流会の報告

3月24日(日)に、実施した学生交流会には合計37名の参加者がありました。

入学者との懇談会で、全員に入学に至った動機と学びへの期待を語っていただきました。卒業生とは、今後の抱負や生涯学習としての放送大学の意義などを話し合い、有意義な時間を持てました。

「古書バザー」と「アートのひろば(作品展示)」を同時開催しました。



古書バザー(2023年度)

*2023年度パソコン教室とPC同好会活動

中田会長は今年度の同窓会活動の重点方針としての「ICT活用」(Teatime115号) を挙げていますが、そのためには会員のスキルアップが欠かせません。同窓会でもPC教室開催と同好会活動を通して、特に初心者の方のスキル向上のサポートをしています。この度、受講者と指導者(同窓会会員)に23年度の活動の総括と次年度の目標などをお聞きしました。

【同好会事務局】 趣味や実用利用を通じて、楽しく覚えるパソコン同好会を目的にしています。指導していただける方を募集しています。

【参加者の感想】 毎回参加し楽しく学んでいます。諸先生方には御指導いただき感謝でいっぱいです。(潤子)

放送大学三重学友同窓会のホームページ

<https://www4.hp-ez.com/hp/hmie/>

同窓会関連のニュースと行事案内、PC同好会、趣味サロン開催日、それらの変更日などがアップされます。

常時チェックしてください。



携帯用QRコード

学生サークル紹介

アートのひろば

私たちサークルのテーマは、“アートって何だろう？”です。

春と秋の「学生交流会」に併せて応募作品を展示・披露し、作品に対する制作意図などを発表し合いながら和気藹々交流しています。

募集部門は次の五部門です。【空間芸術『書・写真・美術・工芸（含華道、拓本、彫刻）』4部門】と、【時間芸術『ひびき部門：『詩・文学』の朗読や『川柳・俳句・短歌』など韻律による文芸作品をはじめ、『楽器演奏・詩吟・民謡・ボーカル』など音楽関係』1部門】です。

「アートのひろば」は、ジャンルを超えて融合し、刺激し合う自己表現の世界を楽しみながら交流する集団です。ぜひ、作品展の様子をご覧ください、私たちと一緒にポストコロナに向かったサークルを楽しみましょう。



【連絡先】川西 彰 059-255-5505 e-mail : a_kawa24@yahoo.co.jp
川合 久雄 059-245-2617 e-mail : h-2617ka@beige.plala.or.jp

歩こう会

会員相互の親睦と「最高の健康法は歩くこと」を合言葉に、山野、古道、旧街道、宿場町、各地の文化財探訪などを行っています。

過去に実施した行事は「青山高原」、「神島」、「熊野古道の各地」、「名張市、伊賀市の文化財探訪」、「奈良井宿」、宇陀市「万葉の阿騎野路」、「室生寺、佛降寺」、「桜花爛漫の水都大垣」、「大台ヶ原」、「紅葉の聖宝寺」、「野麦峠」、「山岳景勝の上高地」、「伊勢神宮内宮宇治橋初渡り」、「鈴鹿山系御池岳登山」、「四季桜と和紙の里小原町」、「乗鞍岳畳平」、「吉野上中下奥千本桜」、「中央アルプス駒ヶ岳千畳敷カール」、国立公園「屋瀬ヶ原」、穂高連峰の登山基地「涸沢ヒュッテ登山」、富山県「立山室堂雪の壁」、「五箇山合掌集落」、東近江市「近江商人のふるさと」、名松線で伊勢奥津の桜まつり、黄檗山万福寺の宝蔵院見学など散策を行ってきました。

毎月大学の掲示板に行事予定を貼付しますので、ご希望の方は参加して下さい。



【開催頻度】月1回 ※但し、単位認定試験月および8月の真夏の季節は除く。

【連絡先】鈴木 正夫 059-386-8592、090-1279-0655 / 前川 尚三 0595-64-0131

古典文学研究会

新年度のテーマは『徒然草』（吉田兼好）の輪読学習です。使用するテキストは、原文を訳文と新校訂の内容で構成した作品『徒然草』（島内裕子著）です。著者は放送大学教授で、関連著作には『徒然草の変貌』『徒然草の内景』『徒然草の遠景』の3部作のほか『兼好』があります。是非一読願いたいので、お勧めします。

「徒然草を読む」と言うことは、先ず原文を繰り返し愛誦することであり、本文を最初から最後まで通読してほしいという強い願いから出発しているものです。（島内裕子著『徒然草』より）

作野史朗先生（顧問）のご指導を受けながら、楽しく学習をして参りましたが、本年度で『徒然草』（243段）輪読学習は完了する予定です。『継続は力なり』学習してきた成果や疑問点を話し合い、研究を深めて行きましょう。



【開催頻度】月1回（毎月第3金曜日 10:00～12:00、学習センター多目的教室）

【連絡先】市川 雄二 059-358-0743

気軽に英語を！

毎月1回の例会を開催しています。午前は「話す」で、「NHKラジオ英語会話」をテキストにして初歩的なスピーキングの練習と「各自のトピックス」の話題提供で楽しめます。

午後は「読む」で、2、3か月ごとに作品を変えていろんなジャンルの英文を読んでいます。今は、朝日新聞「天声人語英訳版」で文の意味と言語の形の理解に努めています。

誰もが少しの努力で、気軽に英語を楽しむことをモットーにしています。このところ毎回の出席者は数名にとどまっていますので、皆さまのご参加をお待ちいたします。

【例会開催】月1回（毎月不定の火曜日 10:00～12:00、13:00～15:00、学習センター多目的教室）

【連絡先】中田 一穂 059-378-3959 e-mail: nkkz@crux.ocn.ne.jp

談風会

「談風会」は「談論風発」をモットーに、いろいろな意見や議論を通じ仲間づくりの楽しい気楽な集まりで、新聞・マスコミでの話題、歴史、文学、身近な関心ごとなど幅広いテーマを話題にしています。

最近のテーマは「落語を楽しもう 桂枝雀、柳家小三治」「山田洋次監督の名作“故郷”を鑑賞」「現代歌人の声を聴いてみる。佐々木信綱、与謝野蕪村、斎藤茂吉、北原白秋他」「2021東京オリンピック・パラリンピック～ボランティア活動記録～」「面接授業悲喜こもごも～全国の学習センターを訪ねて～」などを楽しみました。4月度以降も、楽しい話題を予定しています。どうぞ皆様の御参加をお待ちしております。

開催は下記の日程で学習センターの掲示板に毎月掲示及び個別にメールでご案内しております。案内をご希望の方は下記の担当者までメールで問合せ下さい。

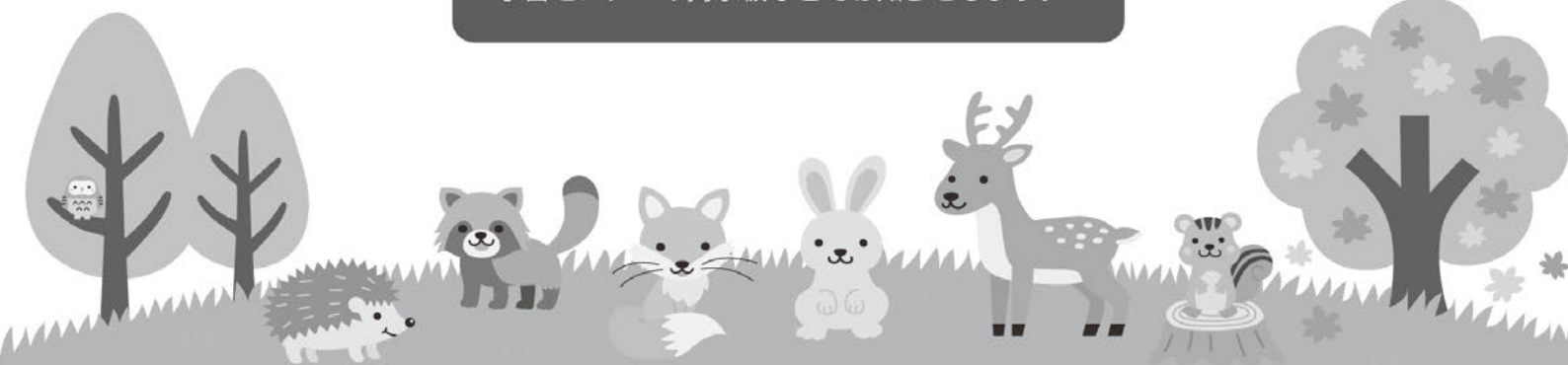
【例会開催】月1回（原則第3金曜日 13:30～15:30、学習センター多目的教室）単位認定試験月はお休み

【連絡先】林 光男 090-2681-1380 e-mail: kumataro55@za.ztv.ne.jp



サークル活動について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、サークル活動を休止する場合があります。最新の活動状況は、三重学習センターウェブサイトや、学習センターの掲示板などでお知らせします。



学 習 ス ケ ジ ュ ー ル

※2024年4月1日時点のスケジュールです。

最新のスケジュールは、三重学習センターのウェブサイトを確認してください。

4月

イベント	1日（月）新学期開始／放送授業開始
	5日（金）オンライン授業開始
	13日（土）面接授業空席発表（学部）
	18日（木）面接授業追加登録開始（学部）
セミナー	27日（土）エネルギー自治について考える（森下先生）
公開講演会	7日（日）文芸講演会（三重日仏協会主催）
面接授業	20～21日：食と農をめぐるSDGs（森先生）
	心理学実験1（山口先生）

4月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

閉所日
 面接授業

5月

イベント	1日（水）ライブWeb授業開始（学部）
	8日（水）通信指導提出期間（Web）～29日（水）まで
	15日（水）通信指導提出期間（郵送）～29日（水）まで
セミナー	11日（土）TOEIC®リスニング問題の会話英語（田畠先生）
	18日（土）微生物とはどんな生き物（苅田先生）
	25日（土）再生可能エネルギー普及の地域的課題（森下先生）
面接授業	11～12日：カウンセリングの基礎（高崎先生）
	18～19日：高分子の基礎（伊藤先生）
	25～26日：建築家の設計過程をたどる（富岡先生） 成人学習理論を学ぶ（岩崎先生）

5月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

閉所日
 面接授業

6月

イベント	10日（月）2024年度第2学期入学生出願受付開始（第1回）
セミナー	1日（土）御師廃止と内宮方御師岩井田家①
	8日（土）TOEIC®リーディング問題の文章英語（田畠先生）
	15日（土）国宝・重要文化財と請来美術（藤田先生）
	22日（土）景観論争としてのアメリカ国立公園開発の歴史（森下先生）
	29日（土）カウンセリングの基礎（クライエント中心療法）（鈴木先生）
面接授業	1～2日：食と栄養（三島先生） 新・初歩からのパソコン（張先生）
	15～16日：心理学実験3（小池先生）
	29～30日：古墳（大倭）時代の三重県（岡田先生）

6月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

閉所日
 面接授業

7月

イベント	14日(日) 面接授業追加登録終了(学部) 単位認定試験(郵送/全形式)~18日(木)《必着》 単位認定試験(Web/記述・併用式)~18日(木)24:00 単位認定試験(Web/択一式)~22日(月)17:00
セミナー	6日(土) 国宝の中国絵画と故宮博物院の名品(藤田先生) 御師廃止と内宮方御師岩井田家②(谷口先生)
	13日(土) バクテリアとはどんな微生物(苅田先生)
	27日(土) 原子力発電と地域(森下先生)
面接授業	6~7日: 規範倫理学(安部先生)

7月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

閉所日
 面接授業

8月

イベント	8日(木) 2025年度卒業研究履修申請開始(学部)
	15日(木) 2025年度卒業研究履修申請終了(学部) 第2学期科目登録申請開始(郵送/Web) 大学院出願受付開始(郵送/Web)
	26日(月) 大学院出願受付終了(郵送/Web)
	30日(金) 第2学期科目登録申請終了(郵送)
	31日(土) 第2学期科目登録申請終了(Web) 2024年度第2学期入学生出願受付終了(第1回)
セミナー	3日(土) 心理的問題は「原因」よりも「解決」から考えよう ー 解決志向アプローチ ー(鈴木先生)
	24日(土) 酵母やカビはどんな微生物(苅田先生) 気候変動対策としての原発を考える(森下先生)
公開講演会	9日(金) みえアカデミックセミナー2024(藤田先生)

8月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

閉所日

9月

イベント	1日(日) 2024年度第2学期入学生出願受付開始(第2回)
	10日(火) 2024年度第2学期入学生出願受付終了(第2回)
	22日(日) 学位記授与式・入学者の集い
セミナー	21日(土) 御師廃止と外宮方御師橋村家(谷口先生)
	28日(土) 乳酸菌は役立つ(苅田先生)
公開講演会	28日(土) 江戸川乱歩「押絵と旅する男」を英語で読む(田畠先生)

9月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

閉所日

三重学習センターの利用時間

視聴学習室・事務室窓口 **9:00~17:30**

※三重学習センターの閉所日は「毎月曜日」、「国民の祝日」、「三重県総合文化センター休館日」、「年末年始(12月29日~1月3日)」です。



● 学生証について

参照 『学生生活の栞』 学部 P.18～19 大学院 P.24～28

学生証は、視聴学習室の利用や単位認定試験の受験、面接授業の追加登録の際などに必要です。新たに交付を受ける方、また学生証の有効期限の切れた方は、学習センター窓口でお渡しいたします。(郵送での交付を希望される方は、三重学習センターウェブサイトをご覧ください。)

★2024 年度第 1 学期に
新規入学・継続入学の方

⇒入学許可書を提示してください。

★在学生で学生証の有効期限が
2024 年 3 月末で切れた方

⇒有効期限切れの学生証を持参してください。

顔写真の登録をされていない方は、「写真票」(『学生生活の栞』学部巻末様式 11、大学院巻末様式 10)を郵送していただくか、システム WAKABA の「学生カルテ」から直接顔写真の登録をお願いします。郵送の場合、本部で電子化作業を行うため、学習センターで学生証を発行できるまでには 2 週間ほどかかります。

有効期限は全科履修生の場合は 2 年間、選科／科目履修生は在学期間(1 年間／半年)です。

● 各種証明書の発行について

参照 『学生生活の栞』

学部 P.97～99(巻末様式 9、10) 大学院 P.93～95(巻末様式 8、9)

各種証明書の発行をご希望の方は、手数料(1 通につき 200 円)を添えて三重学習センターに提出してください。※教員免許状申請用は発行に時間を要します。

《郵送で申し込む場合》

下記①②③④を同封して、放送大学三重学習センター宛てにお送りください。

- ① 諸証明書交付願
- ② 学生証の写しまたは身分を証明する書類(運転免許証等の写し)
- ③ 手数料(手数料相当分の郵便定額小為替、または現金送付の場合は必ず現金書留)
- ④ 返信用封筒(長形 3 号封筒に宛名明記、84 円切手貼付
※発行枚数が複数の場合、94 円切手貼付)

三重学習センターからのお知らせについて

お知らせは、三重学習センターウェブサイト内「三重学習センターからのお知らせ」および三重学習センターの X(旧 Twitter)でお伝えしています。

三重学習センター
ウェブサイト



<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/mie/>

三重学習センター
X(旧 Twitter)



https://twitter.com/ouj_miecenter